作業学習　単元計画シート　　　（単元名：　　　　　　　　　）

特別支援学級での作業学習の授業を計画するに当たり、「作業学習　単元計画シート」に記入していくことで、各教科等の指導内容を整理し、単元全体の「育成を目指す資質・能力」を明確にすることができます。また、単元計画シートを蓄積していくことで、年間指導計画・個別指導計画等の見直しに活用することができます。

**学校教育目標**

**学級目標**

学校教育目標・学級目標を踏まえ、具現化した育てたい生徒像を記入します。

・学習集団全体を対象にした単元目標を設定します。

・生徒を主語にして記入します。

作業学習は、生徒の働く意欲を培いながら、将来の職業生活や社会生活に向けて基盤となる資質・能力を育むことができるようにしていくことが重要です。

**作業学習で目指す生徒像**

**単元目標**

単元全体の評価規準（何を学ばせたい授業なのか）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|  | ・学習集団全体の単元目標を踏まえて、単元全体を通して身に付けさせたい資質・能力について３観点から具体的に設定します。  ・単元全体で3観点の内容が全て入るように設定します。 |  |

各教科等の指導目標等（何を学ばせたい授業なのか）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 教科等 | 何ができるようになるか  （資質・能力） | 何を学ぶか  （学習内容） | どのように学ぶか  （指導方法等） |
| 「何ができるようになるか」では、学習指導要領に記載されている各教科等の目標との関連を整理し、単元全体で身に付けさせたい資質・能力や、目標とする姿を記入します。 |  | 「何を学ぶか」では、学習指導要領の記載をもとに、各教科等の学習内容を記入します。 |  |
|  |  | 「どのように学ぶか」では、主体的・対話的・深い学びの視点を踏まえて記入します。  ・主体的（見通しをもって粘り強く取り組む、自己の学習を振り返って次につなげる等）  ・対話的（協働して取り組む、伝え合うことで考えを広げたり深めたりする等）  ・深い学び（習得・活用・探求という学びの過程を構成する、生徒が考える場面と教員が教える場面を組み立てる等） |  |
|  |  |  |  |

自立活動との関連（何を学ばせたい授業なのか）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 生徒名 | 個別の実態 | 個別目標　→手だて |
|  | 作業学習における個別の実態を記入します。 | 作業学習において指導する自立活動の指導目標を記入します。自立活動は、指導内容が個々に異なることに留意します。 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

**単元構成表（期間：　　　　　　　　）（全時数：　　　　）**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 具体的な活動内容 | **言語能力** | **情報活用能力** | **問題発見**  **解決能力** | 振り返り | 時数 |
| ・知的障害の特性に配慮し、生活に即した具体的な活動にするとともに、繰り返し学習し定着を図ります。  ・生徒の学びの必然性を考慮した単元を構成します。  ・設定した評価を見取る場面、学習内容を設定します。 |  |  | 自らの学習を振り返り、自己の成長や課題について実感できる場面を設定します。 |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  | 学習の基盤となる資質・能力を教科横断的な視点で育む場面を設定します。   1. 言語活用能力 2. 情報活用能力 3. 問題発見・解決能力 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  | ・小単元ごとに時数を設定する。  ・時数の見直しが必要な場合は、次年度の教育課程の編成において参考にします。 |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
| 到達点 | 主となる活動 |  |  |  |  | 合計 |
|  |  |  |  |  |  |  |

**単元の評価計画（何を学ばせたい授業なのか）**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 学習活動 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 第〇時～  第〇時 |  | 単元全体の評価規準について、単元全体を通して「いつ」「何を」見取るのか記入します。 | 「主体的に学習に取り組む態度」では、目標をもって意欲的に取り組む姿、興味や関心をもって取り組む姿、見通しをもって自ら取り組む姿、粘り強く取り組む姿、次の学習につなげようとする姿等について具体的に記入します。 |
| 第〇時～  第〇時 |  |  |  |
| 第〇時～  第〇時 |  |  |  |
| 第〇時～  第〇時 |  |  |  |
| 第〇時～  第〇時 |  |  |  |
| 第〇時～  第〇時 |  |  |  |

**ルーブリック評価表　「教科名」**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 評価規準 | A（十分満足できる） | B（概ね満足できる） | C(指導支援の見直しが必要) |
| 知識・技能 | ・単元全体の目標を踏まえ、生徒一人一人に身に付けさせたい資質・能力について明確にします。  ・単元目標の下位目標として、実態が同じ小集団または個別に設定します。  ・単元目標や単元全体の評価規準を踏まえて、各教科等の３観点で設定します。 |  | ・評価規準を基に、評価基準（ABC）を設定します。観察や測定により、見取ることができる姿を記入します。  ・具体的な姿、支援のレベル、回数等の数値等により3段階で表します。  A＝高い到達度  B＝規準となる到達度  C=指導支援の見直しが必要 |  |
| 思考・判断・表現 |  |  |  |  |
| 主体的に学習に  取り組む態度 |  |  |  |  |

**ルーブリック評価表　「教科名」**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 評価規準 | A（十分満足できる） | B（概ね満足できる） | C(指導支援の見直しが必要) |
| 知識・技能 | 各教科等を合わせて指導を行うため、教科ごとにルーブリック評価表を作成します。各教科等で育む資質・能力について明確にします。 |  |  |  |
| 思考・判断・表現 |  |  |  |  |
| 主体的に学習に  取り組む態度 |  |  |  |  |

**ルーブリック評価表　「教科名」**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 評価規準 | A（十分満足できる） | B（概ね満足できる） | C(指導支援の見直しが必要) |
| 知識・技能 |  |  |  |  |
| 思考・判断・表現 |  |  |  |  |
| 主体的に学習に  取り組む態度 |  |  |  |  |

**本時の略案（　月　日（　）第　時）**

１　本時の目標

単元目標や評価規準と、本時の目標には整合性をもたせます。

　・

２　本時の流れ

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 生徒の活動 | 教師の支援 | 評価（評価規準　→手だて） |
| 導入 | 導入では、本時の到達目標や評価規準を生徒に伝えます。 |  | ・形成的評価を記入します。  ・ルーブリック評価表を基に「誰が」「どのように」見取るかを記入します。  ・評価基準ABCの評価による手だてや支援も考え記入します。 |
| 展開 |  | ・まとめでは、作業班での反省会や、作業日誌の記入等、本時を振り返る時間を設定します。  ・自己評価、他者評価、教師による評価を行い、学習評価を共有する場面をつくる等、生徒が自己の成長を実感したり、課題を見出したりできるように工夫します。  ・ティーム・ティーチングにおける役割分担を記入します。  ・教員間で指導の共通理解を図るために、育成を目指す資質・能力を明確にします。 |  |
| まとめ |  |  |  |

**単元終了後の評価**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 単元の評価  単元目標に対する達成状況、単元の構成や指導内容、指導形態について、良い点・修正点を記入します。 | | |
| 単元の目標に対する達成状況  ３段階で評価します。  ◎十分達成できた  〇概ね達成できた  △見直しが必要 |  |  |
| 単元の内容 |  | ・生徒の学習状況から授業時数を見直します。  ・教科別の指導で取り扱うのか、各教科等を合わせた指導の形態で取り扱うのか検討し、必要な時数を記入します。 |
| 指導形態 |  |  |
| 単元の時数の妥当性 |  |  |

教育課程の見直し（教科等への振り分け、単元の構成・項目、単元の目標、単元の時数）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 指導の評価 | | |
| 生徒名 | 生徒の様子・変容等  目標に対する達成状況を３段階で評価します。  ◎十分達成できた  〇概ね達成できた  △見直しが必要  ・生徒の様子・変容等では、  ◎〇は有効だった手だてを、△は見直しが必要な理由と目標を達成させるために必要な支援を記入します。 | |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

個別指導計画の見直し